

石川、富山県の施工事例など

ICT活用工事報告会開く

北陸整備局

北陸地方整備局が事務局を務める北陸ICT戦略研究会の主催によるICT活用工事報告会が27日、金沢市弥生の石川建設総合センターで開かれ、写真、出席者は石川、富山県内の企業が手掛けたICT土工の事例報告に耳を傾けた。

報告会には、建設業や測量、コンサルタント、自治体職員ら約150人が出席。北陸地方整備局の吉越政浩工事事品質調整官は「ICTの範囲を土工から舗装、浚渫まで広げている。技術導入のメリットと課題を共有し、今後さらに推し進めてい

く」とあいさつした。直轄工事の事例報告では、黒部川における河川工事「平成29年度浦山縦工他工事」（黒部市若栗地先）を施工した共和土木、岐阜県境付近での道路工事「小糸道路その5工事」（富山市小糸地先

を施工した朝日建設、輪島市の「H29・30能越道長沢道路その7工事」でマシンコントロールツインヘッダによる軟岩・中硬岩の法面整形を試験施工した豊盛組、立山砂防事務所発注の急峻な場所での「H30桑谷上流砂防堰堤その他工事」、「H30有峰下流左岸山腹その他工事」を施工した水新建設、新栄建設の担当者がICTのメリットや施工上の留意点、課題を説明した。



このほか、石川県によるICT活用工事「主要地方道金沢田鶴浜線地方道改築工事」を施工した南建設の担当者がその効果を、富山県土木部の担当者がICT拡大に向けた取り組みを紹介した。